

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディスカバリースポーツ			
○保護者評価実施期間	2026/1/7		～	2026/1/23
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日		～	2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校体育で来られる種目を基盤に、一人ひとりの特性や発達段階を的確に捉えた運動療育を行い、「できた」という成功体験を確実に積み重ねます。運動への苦手意識を自信へと転換し、自己肯定感を高めることで、学校生活や将来への主体的な挑戦につなげることができます。	「楽しい」をモットーに、一人ひとりの特性や発達段階に合わせて支援方法やプログラム内容を工夫し、主体的に参加できる環境づくりを行っています。活動を通して自分の役割を意識し、仲間との関わりの中で社会性やコミュニケーション能力を育んでいます。	運動が心身の健やかな成長に不可欠であることを踏まえ、日常生活でも継続できるよう保護者様との連携をより強化していきます。運動の意義や関わり方を共有し、ペアレントトレーニングを充実させることで、ご家庭と事業所が一体となった支援体制の構築を目指します。
2	一貫した支援が幼少期から、成人になるまで受けられる。	移行支援についても力を入れており、まず自施設の併用事業所を知って頂くための交流会を開き、先輩保護者様の意見などを直接聞かれる場を設けております。	保護者会やペアレントトレーニング、フェスティバルを開催し、交流会や意見交換・子供との関わり方の相談・進路や進学相談支援をしております。今後も、機会を設けながらご家庭の皆様に向けてより良い情報発信や環境を整えて参ります。
3	社内の併用事業所間との密な連携がとりやすい。	ケースの情報共有、併用事業所への移行がお子様の成長が伴った時期に、丁寧に伝え親御様が関係性・信頼関係を築きやすい。	児童の発達状況に応じた、サポートの必要性を鑑みたプログラム案内の充実をはかり、学校との連携した取り組み方等を知り、学校との情報共有に今後も努めて参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【家族支援】 ①保護者会の活動の支援 ②保護者会等の開催等による保護者同士の交流の機会	【開催日程や時間設定等の調整】 各ご家庭における、保護者様のお仕事の都合や、予定の確定において難しい課題と感じております。	【頻度を増やす】 事業所内の保護者会を設けていきたいと思ひます。 【ITを活用していく】 たくさんの保護者様にご参加を頂くためにzoom等のITを活用しながら家族支援を 実践し、必要に応じて場所の設定や交流の機会を設けて
2	支援内容や成果がご家庭や学校と十分に共有しきれておらず、具体的な変化として可視化されずに子どもたちの成長や達成度が保護者様や学校に伝わりにくい。	運動療育の成果が数値や具体的な変化として可視化されにくく、成長過程や達成度が保護者様や学校に十分伝わっていない点が課題の要因と考えられます。そのため、支援の意義や効果が共有しづらく、ご家庭や学校と一体となった継続的な支援につなげにくい状況が生じています。	Zoomを活用した見学や参観の機会を設け、保護者様が直接支援内容を理解できる環境を整えます。また、ご家庭でも無理なく継続できる簡単な運動を提案し、日常生活の中で実践できる工夫を行うことで、事業所とご家庭が連携した支援体制を作ります。
3			